

トイヒ小出信濃守へ書面御在所御家來田井杏
庵悴旨人勝弥鉞治導引之儀御家中者格別御領
内療治イ夕シ候ハ、檢校支配ニ不相成候而ハ
難成筋ト存候トイフ不則下敷申
三奉行月番上座ノ下今ハ廢シテ高順ト十儿山
名因幡守手記ニ寛保四子五月十五日今日松平
右近將監殿寺社奉行加役被仰付我等弟子ニ
被成候同月廿一日今日寺社奉行月番之者於評
席上座可然ト相談有之町奉行勘定奉行ハ前ハ
ヨリ月番之方上座有之一座駁ニ有之間此方ニ

テモ上座可然ト申談候一座衆へモ及相談候處
可然トノ事依之今日ヨリ越前殿上座ニ有之候
右紀伊守殿發言ニテ相極リ申候御目付ハ横田
十郎兵衛殿也トイフ明和七寅ノ五月十五日ニ
至テ松平右京大夫殿御渡御書付ニ諸大名座順
之義高順ニ心得同高之面々ハ家督順ニ心得諸
席打込候節モ同高之席順ハ席々無差別家督年
數之順ニ可被心得候トアリケルヨリ惣シテ高
順ト十儿
身延參詣ノ女閨門出入ノ下寛政六寅ノ議定左